

ガス水道局本支管工事、入札改革で競争性高まる

平均落札率は91.1%まで大きく低下、無効も続出
談合疑惑発覚し、入札制度改革後の初めての入札結果

平均落札率はこれまでよりも大きく下回って91.1%に低下。最低制限価格を下回る札を入れての無効、公告要件を満たさなかったための無効などが続出——本支管工事における談合疑惑が発覚し、入札改革を進めているガス水道局が3月20日に行った入札（10件）で興味深い結果が出ました。公告要件を満たさなかった入札の多くは、入札価格と工事内訳書の積算合計が一致しなかったものということ。ちなみに、平成24年度のガス水道局発注工事の平均落札率は94.66%でした。

今回の入札結果を見ると、いずれの工事の入札でも落札率は91%前後となっています。最低は柿崎区三ツ屋浜のガス水道管入れ替え工事（下水5工区）で、新貝工業株が739万円（税別）で落札し、落札率は90.0%でした。最高は黒井・上荒浜地内のガス水道管入れ替え工事でした。金額は2723万円（税別）で株イズミが落札しました。落札率は92.65%です。

すべての入札のなかで、「制限価格が制限価格を下回るため無効」となった入札者の延べ数は37社、「公告要件を満たさなかったため無効」は23社にものぼりました。

ガス水道局所管の本支管工事については、ガス水道局談合情報等調査委員会が、これまでの工事入札に関する録音データのなかに「談合の存在を疑う発言があり、公取委への通知が適当」としました。そして、今後の談合防止のために、予定価格等の徹底管理、工



談合疑惑解明へ市民組織の結成を……市民団体が方針提起

事費内訳書の提出義務化、格付けの撤廃、当分の間、制限付き一般競争入札を行うことなどの制度改革を決めていました。今回のような入札方法についてガス水道局は「当分の間」実施するとしています。が、入札での競争性が高まったことは明らかです。ぜひ継続するとともに、市長部局での入札についても検討してもらいたいものです。

今回の入札結果については、ガス水道局のホームページで見ることができます。

先月30日、「住民自治と合併問題を考える会」（佐藤忠治代表）の談合疑惑問題公開学習会があり、参加してきました。

私は地元町内会の春会議があったので遅れて参加したので、議会議案建設企業常任委員会がガス水道局所管の本支管工事における談合疑惑解明のための百条調査委員会設置陳情を不採択にしたことに対する疑問や怒りの声が充満していました。

学習会では昨年3月まで上越市入札監視員会のメンバー



高田のYさんから絵手紙をいただきました。私が手紙を見るのはたいがい夕方です。この絵手紙が届いた日は新潟で集いがありました。疲れて家に帰ったときにこういう素敵な絵に出会うとホッとします。ありがとうございました。

だった驚澤和省さんが、これまでの経過、議会論戦、その後の入札状況について報告され、意見交換が続ききました。

報告の中で驚澤さんは、「ガス水道局の今回の改善策はより市民益に合致するように改善していくことが必要だが、いまの動きをしっかりと監視していくことが必要だ。他の部局や工事にも拡大するための行動を」と訴えました。

意見交換では、談合疑惑の解明が進まない状況を何とか打開しようという声が多くなりました。そのなかで、ガス水道局所管本支管工事の談合疑惑を解明しようという一点で、市内の大勢の人たちが結集できる組織をつくり、ねばりつよくたたかいて進めていくことが確認されました。

※私の新随想集、『背中かき』（北越出版、税込みで千円）は4月1日発行されました。

春陽館、柿村書店、佐藤書店、吉野書店、天正堂、南部堂などで販売しています。市内の方については、私の携帯電話090・5392・1961に連絡ください。数日中にお届けします。ご連絡、お待ちしております。よろしくお願ひします。

三月の下旬、わが家は誕生日ラッシュです。私が一番早く二四日、続いて母が二七日、最後は月末に妻という順番でやってきます。

わが家では誕生日といっても、その日を祝って一個二百円ほどのお菓子を食べるくらいです。それも誰かが気付いたときだけで、今年の私の誕生日は妻も忘れていたようです。妻が気付いたのは翌日になってからでした。

今年の妻の誕生日。朝早く、長女が縦横それぞれ二五センチほどの四角い箱をくれました。箱にはリボンがキュッと結んであり、いかにもプレゼントといった感じになっていました。箱の上には「お父さんとお母さんのたん生生日のお祝いの品です」と書かれた短冊もありました。

長女に「中身はなんかい」とたずねると、「バームクーヘン。幸せが重なるという意味があるんだよ」と言います。木の年輪のようなバームクーヘンの模様を思い浮かべながら、なるほどと思いました。

プレゼントをもらったことを妻に伝えようと、台所に行くと、電気釜がぶつぶつ音を立てていました。

「ほら、誕生日のプレゼント、もらったよ。バームクーヘンだって」

私がそう言うと、妻から「よかったね」という言葉が返ってきました。私だけにくれたプレゼントではないのに……

しばらくしてから、妻は「みんなで食べよう」と言って、プレゼントの入った箱を開けました。そしてぼつりと言ったのです。「ああ、食器でなくてよかった」と。

じつはこれには訳があるのです。数か月前、ちよっとしたトラブルがわが家で起きました。私も妻も記憶していないコーヒーカップが台所の隅から出てきたのです。うぐいす色よりも少し緑が濃い色のカップには、小さな植物の芽が出て、葉っぱを二個つけた絵が入っていました。

見た瞬間、「素敵なカップだな」と思いました。そこらへんは妻も私の心の動きが見えたようで、「いったい誰からもらったのよ」と訊いてきました。ところが、もたらしたような記憶はかすかにあるけれど、いくら考えても、「うーん、誰だろう」という言葉が出てくるだけで、贈り主の名前が思い浮かばないのです。

約一時間後、険悪な雰囲気になりそうだったところを救ってくれたのは、「おねえちゃんじゃないの」という長男のひと言でした。私には別にやましいことはなかったのですが、この日は、どういうわけか、長女のことから抜けていました。そうですよね、こういうプレゼントをくれる人はまず家族から考えるべきでした。

さて、バームクーヘンです。長女の「幸せが重なる」という言葉が心に残っていて、包丁で切った断面をしみじみと見てみました。年輪のように見える横線は一直線ではなく、ところどころカーブしています。また線と線の間隔はほとんど同じ幅ではありませんが、なかには狭くなったり、広くなったりしているところもありました。

妻によると、バームクーヘンの年輪模様は卵や薄力粉などで作った生地を塗って焼く、焼けたらまた塗るという作業を繰り返すなかでできるのだそうです。いまは大量生産の時代、生地は機械で塗っているのですが、それでも空気が入ったり、生地の量が微妙に違ったりして、様々な模様ができるんですね。人生と同じです。数えてみたら、もらったお菓子には二三の「幸せの年輪」がっていました。

地域みんなが支えてこそ夢は実現する

もう最初から涙を流しっぱなしでした。「牛のお医者さんになりたい」という小学校時代からの夢を実現させるために努力を重ね、見事に花開かせた女性を中心に描いたドキュメンタリー映画、『夢は牛のお

胸を打ちます。それにしてもよく26年間も追いましたね、テレビ局の努力にも拍手を送ります。写真はこの映画のパンフレットと私の元の牛舎での仕事風景との合成です。



歌とおしゃべりが楽しい会

山菜などを母が出荷していることがご縁で、(有)朝日池総合農場の創業祭に参加させていただきました。今年も係わりのある農業者などがいっぱい集まりました。歌とおしゃべりが楽しい会でした。野菜づくり、料理のことなどの話をたくさん聞くことができました。中山間地で本物の農業・暮らしを追求しようと頑張っている人もいましたよ。

医者さん』のことです。子どもたちの仔牛たちと一緒にかけめぐる姿。牛の卒業式。牛たちとの別れ。豪雪のなかでの暮らし。出稼ぎをやめて牛を飼い始めた父親。すべて、わが家のことと重なりました。そして彼女が獣医になって赴任した場所はわが家もお世話になった上越家畜保健所でした。獣医としての仕事の現場には私の知っている牛舎や牛飼いの仲間たちが登場しました。感動で涙が止まりませんでした。映画を観て、学校教育のなかで動物を飼うことの意義を改めて意識しました。地域みんなで学校を支えている姿も



上越地域各消防署における空間放射線量測定結果(測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常の範囲は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だということです。

	3月26日(水)	4月2日(水)
上越南消防署	0.040	0.030
上越北消防署	0.050	0.050
新井消防署	0.053	0.050
頸北消防署	0.046	0.050
頸南消防署	0.033	0.047
東頸消防署	0.050	0.053
高士分遣所	0.047	0.053
名立分遣所	0.043	0.050